

よんなん交通安全だより

令和6年6月12日発行
四日市南地区交通安全協会

交通事故の発生状況

【令和6年6月11日現在】

- **三重県の交通事故死者数は20人で、前年に比べ9人減少。**前年に比べ、人身事故、物損事故とも増加。
 - ・ 交通死亡事故の特徴
事故類型～人対車両7人、車両単独6人、車両相互7人（正面衝突3、出会い頭3、その他1）
路線別～国道10人（R1:1、R23:3、R165:1、その他:5）、県道2人、市町道5人、高速道1人、路外施設2人
年齢別～高齢者10人、20歳代1人、30歳代3人、40歳代1人、50歳代2人、60～64歳3人
昼夜別～昼間6人、夜間6人
- **四日市市内の交通事故死者数は2人で、前年より3人減少。**前年に比べ、人身事故、物件事故ともは増加。
 - ・ 水沢町で「正面衝突」の事故。末永町で「人対車両」の事故、海山道町で「車両相互出会い頭」の事故。
- **四日市南警察署管内の交通事故死者数は2人で、前年より3人減少。**前年に比べ、人身事故は減少、物件事故は増加。
 - ・ 3月3日（日）午前0時頃、末永町地内の市道において、普通乗用車と歩行者の事故。歩行者（30歳代・男性）が死亡。
 - ・ 4月15日（月）午前4時頃、海山道町のR23で、軽四貨物車と自転車の事故。自転車（80歳代・男性）が死亡。

四日市南警察署管内の「令和6年5月末」及び「過去3年間」の交通事故発生状況

年 別	令和6年5月末	前年比	令和5年中	前年比	令和4年	前年比	令和3年
人身事故件数(A)	156	-4	401	-27	428	41	387
死亡事故件数	2	-2	8	5	3	-1	4
死者数	2	-2	8	5	3	-3	6
負傷者数	184	2	480	-56	536	57	479
物損事故件数(B)	2,462	165	5,724	152	5,572	246	5,326
総事故件数(A+B)	2,618	161	6,125	125	6,000	287	5,713

※ 令和6年の数値は、暫定値

夏の交通安全県民運動(7/11<木>～7/20<土>)

【運動の重点】

1 こどもと高齢者の交通事故防止

- ・ 次代を担うこどものかけがえのない命と、交通事故死者の多くを占める高齢者を社会全体で交通事故から守りましょう。

2 歩行者優先意識の徹底と安全な横断方法の実践

- ・ ドライバーは、横断歩道における歩行者優先を徹底しましょう
- ・ 歩行者は、近くに横断歩道があれば横断歩道を渡るなどの交通ルールを守り、安全に横断しましょう。

3 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- ・ シートベルトは、ご自身やご家族の命を守ります。すべての座席で着用しましょう
- ・ 6歳未満のこどもを乗車させる際は、チャイルドシートを着用しましょう。

4 飲酒運転等の根絶

- ・ 「飲酒運転は絶対しない。させない、許さない」という強い自覚を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。
- ・ 「あおり運転（妨害運転）」は、交通事故につながる極めて悪質・危険な行為で、重大な犯罪です。こころと時間にゆとりを持って、「おもいやり運転」に努めましょう。

5 自転車等時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

- ・ 自転車は、「車のなかま」です、交通ルールを守りましょう。
- ・ 自転車や電動キックボード等を利用する人は、自分の命を守るため、ヘルメットを着用しましょう。

